

事務事業名	UIJターン就業定住助成事業			担当	産業部 商工観光課 勤労者係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名	11-1 UIJターン等雇用の促進		
施策名	5	雇用の安定と勤労者福祉の充実		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	UIJターン就業定住助成金交付要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	5. 労働費	1. 労働諸費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	【交付要件】以下のすべてを満たすUIJターン者（1年以上市外に居住した方で真岡市へ転入した方） （1）平成30年4月1日から令和5年3月31日までに真岡市外から転入し、真岡市内に本店を有する地場中小企業に就業または真岡市内で創業した方で、引き続き6か月以上経過していること （2）就業又は創業した日の年齢が35歳未満であること （3）就業の場合は正規雇用（雇用期間に定めがなく、雇用保険加入者で所要労働時間が週30時間以上）であること （4）市税等を滞納していないこと 【助成額】10万円（同一世帯の扶養親族一人当たり2万円加算、限度額20万円） 【その他】令和元年度から「とちぎWORKWORK就職促進プロジェクト」の県補助事業でUIJターン者に対し移住支援金を別途支給予定（東京圏に5年以上在住した者が転入・就業した場合に該当）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
31年度実績 UIJターン就業定住助成金の申請受付及び交付		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア UIJターン就業定住助成金交付件数	件			1	1	5
		イ WORKWORKとちぎ移住支援金交付件数	件				0	5
		ウ						
		エ						
		オ						
2年度計画 UIJターン就業定住助成金の申請受付及び交付 WORKWORKとちぎ移住支援金の受付及び交付								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
市内へのUIJターン者		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア：本市人口（4月1日推計人口）	人	79,422	79,542	79,414	79,324	78,874
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
地場中小企業への就業者の増加 市内における創業者の増加		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア：就業による市助成金の交付件数（世帯数）	世帯			1	3	10
		イ：就業による市助成金の交付人数（扶養親族含む）	人			1	3	15
		ウ：創業による市助成金の交付件数（世帯数）	世帯			0	0	5
		エ：創業による市助成金の交付人数（扶養親族含む）	人			0	0	10
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
地域経済の活性化及び人口減少の抑制		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア：市内製造品出荷額（未集計年度は推定値）	億円	5,789	5,789	5,789	6,205	6,205
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	100	300	400
		事業費計(A)	千円	0	0	100	300	400
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	1	1
		延べ業務時間	時間	0	0	40	40	40
		人件費計(B)	千円	0	0	167	162	162
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	267	462	562

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	真岡市UIJターン就業定住助成金は、地場中小企業の人材確保と本市への移住促進を目的として平成30年度に開始した。 WORKWORKとちぎ移住支援金は、東京圏から栃木県への移住定住の促進、及び県内中小企業等における人手不足の解消に資するために令和元年度から開始
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	近年、労働力人口の減少等により、中小企業・小規模事業者における人材不足や後継者不足の問題が深刻化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	真岡商工会議所から中小企業や小規模事業者の振興に係る計画策定の要望により、令和元年度に「中小企業・小規模企業振興計画」を策定

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある UIJターナーへの助成により地場中小企業や市内創業者を支援することは地域の活性化に繋がる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域活性化や人口減少の問題は市全般に関わるので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地場中小企業への就業者及び市内創業者（いずれも35歳未満）に対して助成することは妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地場中小企業及び転入者（移住希望者）に対するPRを強化することで今後の成果向上が期待できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地場中小企業の人材確保がより難しくなる。 移住希望者の減少が見込まれる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現時点においては必要最小限の経費で運営している。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現時点においては必要最小限の人件費で運営している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 就業先について、市内の中小企業者等を広く対象としており公平である。 対象者について、転入前の住所エリアを限定せず広く対象としており公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							